

「食クラスター連携協議体」設立趣意書

平成22年4月1日

食クラスター活動の本格展開を図るため、北海道経済連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道経済産業局及び北海道は、協力して「食クラスター連携協議体」を設立し、幅広い機関・企業の参画を得て連携・協働による取組を全道及び地域レベルで進めることとする。

1. 目的

北海道の豊富な農水産資源を活用した食クラスター活動を盛んにすることにより、付加価値の高い商品を生み出し、これを国内外に向けて流通・販売し、また観光産業などとの融合化を図るなど、北海道ならではの食の総合産業(一次・二次・三次産業)の確立に総力をあげて取組む。これにより地域の雇用・所得・人材を確保し、自立的な地域社会を実現し、北海道経済を牽引していく。

これらを達成するため、産学官金の連携・協働による推進体制すなわち「食クラスター」を形成し、北海道の地で総力を挙げて取組むこととする。

2. 体制

- 「食クラスター連携協議体」は、設立主旨に賛同する食に関連する企業、生産者、団体、機関等から構成する。
- 「食クラスター連携協議体」には、全体の事務を総轄する事務局を置く。

3. 役割

- 「食クラスター連携協議体」は、食分野の企業・生産者、関連産業、関係行政機関、研究機関、支援機関等との相互の密接な連携協力関係の構築と、食の総合産業の確立に向けた活動を実施する。
- 事務局は、「食クラスター連携協議体」の運営に係る管理・調整等を行うとともに、食クラスター活動の普及促進を図る。

4. 事業の概要

「食クラスター連携協議体」の目的を実現するため、以下の事業やプロジェクトを実施する。

- (1) 高付加価値化に向けた取組
高付加価値化に向けた技術開発や研究開発、新商品・サービス支援、生産性向上等
- (2) マーケティング・販路拡大の取組
道内、道外、海外へのマーケティング・販路拡大等
- (3) 投資促進に向けた取組
食関連企業や研究所の道外からの誘致等
- (4) 普及促進のための取組
「食クラスター活動」の全道的な普及促進等
- (5) その他
「食クラスター連携協議体」の目的を達成するために必要な調査や提言等

北海道経済連合会	会 長	近藤 龍夫
北海道農業協同組合中央会	会 長	飛田 稔章
北海道経済産業局	局 長	柚原 一夫
北海道	知 事	高橋はるみ